保健センターだより

今月の健康俳句　だれそれの　分と指折り　大根抜く　桑原　聡子

今月の健康川柳　休日の　父はパチンコ屋へ　走り　数川　謙二

※このコーナーは、大口俳句会・大口川柳クラブの皆さんのご協力により、「こころ」の健康づくりの一翼を担っていただいています。

歯の健康センターのご案内

子どものフッ化物塗布、成人歯科健診を実施します。

日時　6月9日（日）午前9時30分から11時30分

場所　保健センター（ほほえみプラザ2階）

対象者および定員

▽子ども
1歳から小学6年生　70名

▽成人
大口町にお住まいで18歳以上　20名

費用　無料

申込み期間　5月1日（水）から6月6日（木）まで

※健康課へ事前予約が必要です。

主催　尾北歯科医師会

協賛　愛知県歯科衛生士会尾張北部支部、大口町

申込みおよび問合せ先
健康課　☎94-0053

高齢者と障がい者の総合相談窓口

大口町地域包括支援センター便り

認知症について、「わがこと」として考えてみよう

認知症は、誰もがなる可能性のある脳の病気で、自分自身や家族、大切な人が認知症と診断されることは決して珍しいことではありません。2025年には65歳以上の高齢者の約5人に一人が認知症になるといわれています。たとえ認知症になったとしても、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、認知症を正しく理解していくことが大切です。今月は認知症の早期発見の大切さについて紹介していきます。

認知症とは　脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったりすることで、認知機能（記憶や判断力など）の障がいが起こり、生活するうえで支障が出てくる状態のことをいいます。

早期診断・早期治療の大切さ

もしかして認知症かもと思われる段階で早期発見、早期治療をおこなうことはとても重要なことです。「最近忘れっぽくなったな?」と思ったら、できるだけ早く相談しアドバイスを受けることが大切です。

認知症状のチェックポイント

▽同じことを何度もいったり聞いたりする、忘れ物や探し物が多くなる。

▽以前はできた料理や買い物に手間取る、お金の管理ができない。

▽ニュースなど周りの出来事に関心がない、意欲がなく趣味・活動をやめた。

▽些細なことで怒りっぽくなった。

早期発見・早期対応のメリット

▽症状が軽い段階から、こころ・からだ・生活の準備をすることができます。

▽薬で進行を遅らせて、健康な時間を長くすることができる可能性があります。

▽治療できる認知症やよく似た症状のある病気にも対応できます。

どこに受診すればいいの?

▽まずはかかりつけの病院で相談してください。物忘れ外来や認知症外来のある医療機関へ紹介をしてもらうこともできます。

受診するときのポイント

認知症の症状の現れ方には、個人差があります。ありのままを伝えるために、日頃からどのような症状が出ているのか、なるべく具体的にメモをとっておきましょう。

▽いつ頃、どんな変化に気づいたか

▽現在の症状

▽服用している薬の内容

地域包括支援センターでは認知症についての相談、その他、地域で暮らす高齢者ご本人や家族、周囲の皆さんからの相談を受け、介護・福祉・医療などに関するさまざまな情報提供をおこなうとともに、必要に応じて支援をおこなっています。お気軽にご相談ください。

問合せ先
大口町地域包括支援センター
☎94-2227